

令和5年度 三友堂病院の医師および看護職の負担軽減計画

<p>令和5年3月末現在の医師の勤務状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師数 常勤 19名 非常勤 7.1名 ・常勤医師平均勤務時間 平均週 39.1時間(うち残業 2.9時間) ・月当たり当直回数 平均 26.9回 <li style="padding-left: 20px;">※1年を通して当直を行っている医師の平均回数 2.7回 ・短時間正職員制度利用医師 3名(週32時間2名、週24時間1名) ・出産、育児、介護休暇利用医師 0名 	<p>目標</p> <p>○当法人では、ワークライフバランスを重視する観点から、全ての職員が短時間正職員制度を利用することが可能な体制をとっている。</p> <p>また、医師の事務作業の負担を軽減することを目的にメディカルクラークを配置、さらに医師業務の補助として看護職、コメディカルを含め多職種による協力体制の下、業務分担を進めている。今後も未だ十分とは言えない医師業務負担の軽減について諸施策を立案、実行し最終的には医師が求めるレベルに到達することを目標とする。</p>
---	---

項目	これまでの取り組み	令和5年度の目標(令和5年10月まで)	目標達成の評価指標	達成項目の確認		令和4年度実績 (令和5年3月現在)
				令和5年度	中間報告(月現在)	
看護業務	看護職員と看護補助者の業務分担の推進を図り、看護職員が行う書類・伝票の整理及び作成の代行、診療録の準備等の業務を移行している	①放射線技師の救急外来検査迎え支援による看護業務の円滑化。 ②臨床検査技師の採血業務支援による看護業務の円滑化。 ・中央処置室採血、人間ドック採血 ・職員健診 ・看護学生健診 (前年度比3名減の中、同程度実施)	①X-P,CT,MRI撮影時の迎え件数 ②採血件数	□		①外来13件 ②人間ドック採血数名 (多い時で5~6名) 893件
医師事務作業	診断書、入院総括、主治医意見書等を主に文書全般の作成支援の取り組みを行っている。入院時の持参薬処方を入力、臨時処方、口頭指示医師記録の代行入力を行っている。外来で代行入力や補助業務を行い医師の支援を行っている。	①現在作成中のパス計画の代行入力支援の継続 ②医師業務負担軽減に向け、業務の拡大、支援に努める	①内科パス新規2科以上 ②各科医師の支援件数	□		① 2科(脳神経外科・整形外科) ② 新たに着任医師2名 未読レポートリストを作成
栄養管理	入退院支援として栄養状態に問題ありの患者に外来通院時からの栄養介入を実施している	①栄養状態が低下している患者に対し、適切に栄養介入する。 ②入退院支援において看護師と連携を図り、栄養指導・支援を行う。	①NSTカンファレンス・回診件数 ②-1 入院・外来栄養指導加算件数 ②-2 栄養管理計画書作成件数	□		① 10件/月(算定数) ②-1 60件/月 ②-2 85件/月
救急医療を担う医師の待遇	当直業務を担う常勤医師に緊急患者の受診に応じた宿直料加算を創設、また当直手当の見直しを複数回行ってきた	①当直の管理(当直表の作成と変更作業)を事務部で行い、連続当直や手術日前日の当直とならないよう配慮する ②外部当直医師の確保	①連続当直回数1回以下/半期 ②現状比5回以上減	□		①2回/年 ②0回
医師の労働時間	短時間正職員制度を導入し、労働時間の短縮や制限(夜勤免除や残業免除)等の取り組みを行っている	医師毎の勤務状況を把握し、医師の休暇管理を行いながら年次有給休暇7日以上取得を実現する(年3回程度医局会で医師の休暇取得状況を報告する)	常勤医師の年次有給休暇取得日数	□		7.3日